広域コンソーシアム事業の取組事例④（東北ジビエコンソーシアム）

事業実施年度：R8度

イベント開催　商品開発　人材育成（OJT研修）　ICTシステム導入

○ コンソーシアムの特徴
処理加工施設の少ない東北地域で、先進的に処理加工施設を運営する4施設が参画し、東北地域におけるジビエの普及拡大のため、東北ジビエフェスティバルの開催や、人材育成、販路拡大、ICTシステムの導入に取り組む。
この取り組みを通じて、事業者間の連携機会の創出、連携体制の強化を図る。

コンソーシアムの体制

○ 処理加工施設
（株）meet me（事務局）
毘沙門商会合同会社
合同会社ジビエの郷おおさき
四季彩　平山（飲食店）
（処理加工施設「ふくしまジビエファクトリー」を運営）
○ 流通販売事業者
岩手県産（株）
○ 岩泉町・大崎市・遠野市、捕獲者等

取組内容

○ 8月に仙台クラフトビールフェスティバルにあわせて「東北ジビエフェスティバル」を同時開催。東北管内のジビエを使って、ジビエ料理を提供。また、鹿革キーホルダーづくり体験等展示・体験ブースを実施。
○ 販路拡大のための営業・商品開発スキル研修等を実施
○ 処理加工施設の人材育成のため、衛生的な処理・解体技術の習得当を目的としたOJT研修を実施。
○ 情報管理の効率化を図るため、販売管理システム機器を導入。





東北ジビエフェスの様子（左：展示ブース、右：ジビエメニューの販売）





東北ジビエフェスの販促チラシ